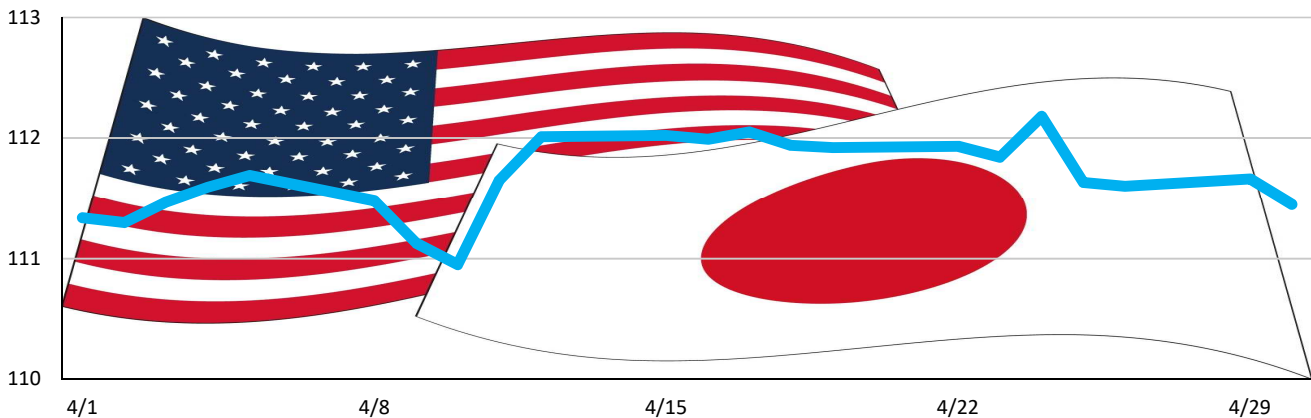


MARKET REVIEW

先月の振り返り：4月のドル円相場は110円後半～112円半ばで推移。米雇用統計の結果が良好だったものの、IMF(国際通貨基金)が世界経済成長率見通しを下方修正したことやトランプ大統領がEUからの輸入品に関税賦課を検討と報じられたこともあり、ドル円は一時111円を割り込んだ。その後、EU臨時首脳会議において10月までの英離脱期限延期で合意と報じられたことで欧州通貨を含めてリスク回避の動きが一服。日米通商協議において為替問題への言及が避けられたこともあり、ドル円は112円台を回復する場面もあった。ただ米中貿易問題やイースター休暇、日本の大型連休等もあり上値は重く、月間では変動幅が2円にも満たなかったことから、決め手に欠く動きだった。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開：イギリスのEU離脱問題が一旦落ち着いてきたこともあり、マーケットの最大の関心事は米中貿易問題。執筆時点では結論が出ていないが、今回もトランプ大統領の発言によってマーケットが振り回されており、米中協議が合意に至るかどうかはわかるまでは重苦しい雰囲気だ。いずれにせよ合意できなければ、株安などでリスク回避の円買いが加速する可能性があり、警戒しておきたい。仮に合意したとしても、合意内容次第では上値が重たいまま推移することも考えられるため、見極めが大事になるだろう。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
5 / 30 (木)	21 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆
6 / 6 (木)	20 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
6 / 7 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
6 / 14 (金)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
6 / 20 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
6 / 20 (木)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
6 / 20 (木)	20 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。